

■抗パーキンソン病薬

	一般名	商品名	用量用法	副作用	備考
抗コリン薬	ビペリデン	アキネトン	1-6mg/1-3x 5-10mg/1x (※筋注剤)	抗コリン作用 →認知機能低下 ※注意:高齢者	半減期:長
	トリヘキシ フェニジル	アーテン	2-12mg/2-3x		半減期:短
抗ヒスタミン薬	プロメサジン	ヒベルナ ピレチア	25-200mg/1-3x	眠気	※抗コリン 作用も

■ADHD治療薬

	一般名	商品名	用量用法	備考
選択的アドレナリン 受容体作動薬	グアンファシン	インチュニブ	1-6mg/1x	※小児のみ 体重による用量制限あり
NRI	アトモキセチン	ストラテラ	40-120mg/1-2x (※0.5-1.8mg/kg)	選択的ノルアドレナリン 再取り込み阻害薬
精神刺激薬	メチルフェニデート	コンサータ	18-72mg/1x朝	※登録必要

■気分安定薬

一般名	商品名	用量用法	血中濃度	作用		副作用、備考
				抗躁	抗うつ	
リチウム	リーマス	100-1200mg/2x	0.3-1.2 mEq/l	++	++	振戦、脳波異常
バルプロ酸	デパケン	100-1200mg/2x	50-125 μ g/ml	++	+	高アンモニア血症 ※シロップ剤
カルバマゼピン	テグレトール	100-1200mg/2x	4-12 μ g/ml	+	+	薬物アレルギー、相互作用
ラモトリギン	ラミクタール	25-400mg/1-2x	—	+	++	バルプロ酸併用:最初は隔日内服

□使用例

		薬剤
躁状態	急性	ジプレキサ、エビリファイ、デパケン、リボトリール
	維持	リーマス、デパケン
	急速交代	デパケン
うつ状態	急性	セロクエル、ラモトリギン
	維持	リーマス、ラモトリギン
感情不安定		テグレトール
高齢		デパケン

□使用例

		薬剤
不安時	軽度	リーゼ
	中等度～重度	ソラナックス、デパス
	高齢	セディール、グランダキシン
	肝障害	ワイパックス
けいれん発作	発作重積	セルシン(5)1Aから緩徐静注。消失するまで。
	発作直後	ダイアップ座薬(4)1コ挿肛 フェノバル(100)0.5A筋注

※注意

眠気(過鎮静)

ふらつき(転倒)、呂律不良、**呼吸抑制**←筋弛緩作用

脱抑制、せん妄

依存形成(耐性)、退薬症状(離脱症状)

認知機能障害

※禁忌

飲酒←相互作用

急性の緑内障←抗コリン作用

重症筋無力症←筋弛緩作用

□使用例

			薬剤
不穏時 (急性期)	経口可 (内服)	軽度	セロクエル25mg、リスパダール1mg、ジプレキサ5mg
		重度	レボトミン25mg
		高齢	リスパダール0.5mg、デジレル25mg
	経口不可	筋注	ジプレキサ10mg、セレネース5mg、レボトミン25mg
		点滴	セレネース5mg＋生食50ml ロヒプノール(2)1A＋生食50ml ※入眠直後で中止 & SpO2モニタ
慢性期			エビリファイ、リスパダール、ジプレキサなど

※注意

抗ドパミン作用： 錐体外路症状： **パーキンソン症状**(手指振戦、固縮、無動)、
急性ジストニア、アカシジア、遅発性ジスキネジア

悪性症候群： 高熱、筋強剛

高プロラクチン血症：女性化乳房、乳汁分泌、月経不順、無月経

抗ノルアドレナリン作用：過鎮静、射精障害、起立性低血圧、不整脈(QT延長)←**循環抑制**

抗コリン作用：便秘、口渇(→水中毒)、尿閉、霧視、認知機能障害

抗ヒスタミン作用：傾眠、耐糖能異常

その他：肝障害、血球減少、てんかん、ピサ症候群

※禁忌

全身状態不良、昏睡、麻酔下、エピネフリン←抗ノルアドレナリン作用
急性の緑内障←抗コリン作用

●高齢者(65歳以上)への追加用量制限

	初回のみ	継続
睡眠薬	マイスリー5mg ルネスタ 1mg	ベルソムラ 15mg ルネスタ 2mg ハルシオン 0.25mg サイレース 1mg
抗不安薬	—	ソラナックス 1.2mg デパス 1.5mg
抗精神病薬	—	—
抗うつ薬	—	—
気分安定薬	—	—
抗認知症薬	—	—
その他	—	—

<http://commulabo.com>

●肝機能障害や腎機能障害での減量

	肝機能障害で減量	腎障害で減量
睡眠薬	全て (ロラメットを除く)	ルネスタ
抗不安薬	全て (ワイパックスを除く)	—
抗精神病薬	全て	リスパダール、インヴェガ、クロザリル、ベンズアミド系 (ドグマチール、グラマリール)
抗うつ薬	全て	パキシル、トレドミン、サインバルタ、リフレックス
気分安定薬	全て	リーマス、ラミクタール
抗認知症薬	全て	メマリー、レミニール
その他	全て	ビ・シフロール、レグナイト、レグテクト

●胎児奇形性や授乳移行性の危険性

	妊胎児奇形性		授乳移行性	
	禁忌	リスク説明	禁忌	リスク説明
睡眠薬	ハルシオン、ユーロジン、 ドラール、ダルメート	全て	—	全て
気分安定薬	デパケン			
その他	—			

心療内科・精神科の薬

- 睡眠薬□使用例
- 抗不安薬□使用例
- 抗精神病薬□使用例
- 抗うつ薬□使用例
- 気分安定薬□使用例
- 抗認知症薬□使用例
- 抗パーキンソン病薬
- ADHD治療薬
- アルコール依存症治療薬
 - 肝障害や腎障害での減量
 - 胎児奇形性や授乳移行性の危険性
 - 運転制限
 - 期間制限
 - 高齢者(65歳以上)への追加用量制限

□使用例

	薬剤
入眠困難	マイスリー、レンドルミン
中途覚醒、浅眠、早朝覚醒	レンドルミン、サイレース、ベンザリン
高齢	ベルソムラ、ロゼレム、マイスリー
不安による不眠	デパス
肝障害	ロラメット

※注意

朝の眠気(持ち越し効果)

ふらつき(転倒)、呂律不良、**呼吸抑制**←筋弛緩作用

脱抑制、せん妄

依存形成(耐性)、退薬症状(離脱症状)

認知機能障害

※禁忌

飲酒←相互作用

急性の緑内障←抗コリン作用

重症筋無力症←筋弛緩作用